

"the whole truth, and nothing but the truth about Jesus"

# THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication

## デイリー・ジーザス・ニュース #281

木曜日...指導と逮捕の日：

### 最後の晩餐

イエスは足を洗う教えを説明し、実践する

ヨハネ13:12-20

=====

12 イエスは彼らの足を洗い終わると、着物を着て、自分の場所に戻られました。

「わたしがあなたがたにしたことが、分かりますか。」イエスは彼らに尋ねられた。 13 「あなたがたはわたしを先生、また主と呼んでいますが、そう呼んで結構です。わたしはそのとおりなのです。

14 主であり教師であるこのわたし自身が、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたも互いに足を洗い合いなさい。 15 わたしがあなたがたにしたように、あなたがたも絶えずそのようにするように、わたしは模範を示したのです。

16 よくよくあなたがたに言います。しもべはその主人より偉くはなく、使者は遣わした者より偉くはありません。 17 あなたがたはこれらのことを知っているのですから、それを実行し続けるなら、本当に祝福されます。

18 「わたしはあなたがた全員のことを言っているのではない。わたしはわたしが選んだ者たちを知っている。しかし、これは聖書の次の一節を成就するためである。」わたしのパンを分け与えた者がわたしに背を向けた。 『(詩篇41:9)』

19 「わたしは、事の起こる前に、今あなたたちに話します。事の起こったとき、わたしがまことの人であることを、あなたたちが信じるようになるためです。 20 よくよくあなたたちに言います。わたしが遣わした者を受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。また、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します。** 旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムの上の部屋
タイムライン	4月上旬 ( 39ヶ月目 )
イエスの生涯の文脈	第8段階：受難週
	D. 木曜日：指導と逮捕の日
	最後の晚餐
タイトル	イエスは足を洗う教えを説明し、実践する

#### コメント：

弟子たちの足を洗った後、イエスは数分間、ご自身の模範から私たちが学ぶべき教訓を説明し、それを実践されました。これらは、弟子としての生き方についてイエスが語った最も重要な言葉の一部です。ここでは最も重要な概念についてのみ触れたいと思います。

イエスは修辭的な問いかけから始めました。 **「私があなた方のために何をしたか分かりますか？」** 彼らは理解していませんでした。彼らが理解するには、聖霊によってイエスについてさらに深く教えられ続ける生涯が必要でした。しかし、イエスは **「あなた方のためにした」と言う際にギリシャ語の完了形を用いました**。彼らはその程度は理解していました。残念ながら、英語でコミュニケーションをとる私たちにとって、イエスがこのギリシャ語の時制を用いて何を意図していたのかを理解するのは難しいのです。

ギリシャ語の完了形は強力な概念です。これは、過去に起こった行為を表しますが、その結果は残っています。ギリシャ語で「私は10歳の時に100ドル貯金しました」と言う場合、それは10歳から何年経っても、その100ドルがまだ貯金された状態にあることを意味します。結果は残っています。この時制は、話し手/書き手が過去の行為について語る時点で、依然として有効な結果、つまり変化していない結果を生み出す行為にのみ用いられます。過去の行為 + 現在、進行中、現在の結果。これがギリシャ語の現在時制です。

イエスが弟子たちの足を洗った時の働きは、今も続いていました。肉体的には、彼らの足は依然として清らかでした。しかし、イエスは足を洗ったことだけでなく、ご自身の人生における模範全体の力について語っていたのです。ですから、イエスは次こう言われました。 **「わたしがあなたたちに模範を示したのは、わたしがあなたたちに示したように、あなたたちも絶えず行うためです。」** イエスの模範の力は永続的なので、私たちもそれに従うことを継続的、つまり永続的に **行うべきです**。 **「あなたたちは絶えず...」**

この原則は、聖書に記されているイエスの私たちに対する模範のあらゆる側面に当てはまります。

なぜ聖書の大部分が物語形式なのか、不思議に思ったことはありませんか？福音書はなぜ「イエスは神である。神は三位一体である。聖書は神の靈感を受けた、誤りのない神の言葉である」といった単なる命題的な要約ではなく、文脈、言葉、行為を含む物語として書かれているのでしょうか？

これらの真理は、聖書の中で物語形式で伝えられています。なぜなら、イエスの模範は、私たちの従順にとって、彼の命令的な言葉と同じくらい重要で権威あるものだからです。イエスは、ご自身の人生を通して模範を示すことを選ばれました。それは、私たちが、イエスが最初に私たちのためにしてくださったように、行動することを学ぶためです。

弟子とは、イエスの無数の模範に従う者です。だからこそ、イエスについて読み、日々イエスの模範に触れることが非常に重要なのです。そうでなければ、私たちはイエスご自身よりも、周りの人々の不完全で、しばしば破壊的な模範に形作られてしまうでしょう。イエスこそ、私たちがあらゆることにおいて見習うべき模範なのです。

イエスが足を洗う場面とその直後に示された例の一つは、裏切り者イスカリオテのユダとの関わり方です。イエスは足を洗うことで、ユダに最後の訴えかけをしました。ユダの目をまっすぐに見つめ、悔い改める機会をもう一度与えることで、ユダを含め「**ご自分の民を最後まで愛した**」のです。次の朗読を通して、イエスがどのようにユダに手を差し伸べたかを見ていきましょう。

主の模範の中で最も重要かつ難しい側面の一つは、敵を愛し、赦し、恵みを注いだことです。最後の晩餐におけるイエスとの関わり方は、この模範の力強い部分です。主は私たちにも同じようにすることを意図しておられました。本当に。

応用：

イエスは言われました。「**あなたがたはこれらのことを知っているのですから、それを続けていくな、本当に祝福されるでしょう。**」使徒たちはイエスの模範について多くのことを知っていました。彼らはまだそれを完全に理解していませんでした。聖霊の助けが必要だったのです。しかし、イエスが何を語り、何を行われたか、つまりイエスの模範について、彼らは膨大な量の情報を持っていました。しかし、その情報だけでは役に立ちませんでした。祝福は後から、つまり従順さの中でもたらされるのです。

イエスの生涯における最も重要な例は、福音書の中に記録されています。私たちも、イエスが私たちのためにしてくださったことを、イエスとの関係、自分自身との関係、そして他者との関係において実践することによって、使徒たち自身と同じ祝福を経験することができます。イエスに従うことで得られる祝福には、私たち自身の意志以外に限界はありません。

この聖句の中に、あなたが模倣できるイエスのどのような例がありますか。

最近、誰かの足を「洗った」のはいつですか？

あなたがイエスに見てきた中で、まだ倣っていない最も最近の例は何ですか。いつから始めますか。